

谷田部東中通信

学校便り NO. 5

令和7年9月1日

つくば市立谷田部東中学校

初秋の候 保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校教育活動にご理解、ご協力いただき感謝いたします。

さて、8月は、県大会、関東大会、全国大会が開催されました。連日、熱中症警戒アラートが発令される中、暑さ対策を行いつつ練習に励み、大会本番に挑みました。真剣な眼差しで最後まであきらめず立ち向かう凛々しい姿が見られました。夏休みが明け、今後も保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

では、8月に行われた教育活動及び職員研修の様子をご紹介します。



◎英語プレゼンテーションフォーラム県南大会

8月1日(金)英語プレゼンテーションフォーラム県南大会が開催されました。本校から5名の代表生徒が出場しました。

生徒たちは、「よりよい茨城にするためには」というテーマで、プレゼンを行いました。大きな会場で、しかもトップバッターだったため、生徒たちには緊張した様子が見られました。しかし、これまでの練習で育んできた力を発揮し、堂々と表現することができました。また、質疑応答では、自分たちの考えを添えて表情豊かに即答することができました。生徒たちにとって、今回の経験は大きな自信につながったようです。

これまで応援して下さった保護者の皆様、ありがとうございました。



◎関東中学校陸上競技大会

8月7日(木)・8(金)カンセキスタジアムとちぎで、陸上競技関東大会が開催されました。

本校から、9年生2名が共通男子 200m、共通男子砲丸投げに出場しました。2名の選手は、環境が整備された大きなスタジアムで大歓声を浴びながら、大勢の観客の前で持てる力を十分に発揮することができました。



◎全日本中学校陸上競技大会

8月17日(日)全日本中学校陸上競技選手権大会・共通男子砲丸投げに、本校9年生徒が出場しました。

今年度の開催地は沖縄。暑さ厳しい中での競技となりましたが、本校生徒は攻めの姿勢で挑み、競技終了後は満足そうな表情を見せていました。全国大会という大きな舞台で、臆することなく伸び伸びと競技を行えたのは、保護者の皆様・地域の皆様の温かな声援のお陰です。

これまで、県南大会・県大会・関東大会・全国大会と応援いただき、ありがとうございました。



◎県吹奏楽コンクール

8月12日(火)、吹奏楽コンクール県大会が行われました。

演奏前は、「緊張のあまり、食事がのどを通りません。」と話していた吹奏楽部員たち。いざステージに上がると、目がキラキラと輝き出し、全観客を惹きつける魂込めた演奏を披露することができました。結果は金賞、茨城県代表、朝日賞(第1位)を受賞することができました。現在、9月に行われる東関東大会に向け、さらに高い目標を掲げ練習に取り組んでいます。引き続き応援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



◎未来塾

8月19日(火)・20日(水)・22日(金)の3日間、つくば未来塾(夏休み)が行われました。

つくば未来塾は、生徒たちが各自教材を持参し、それらを使用して自習を行います。9月に実施される定期考査に向けて、生徒たちの基礎力を高めることをねらいとしています。

各教室では、外部からお招きした学習チューターさんが、生徒からの質問に答えたり、学習支援を行ったりしました。

夏休みということもあり、久しぶりに教室で学習を行う生徒たち。どの教室の生徒も未来塾での学習時間を有効に活用し、集中して課題に取り組んでいました。



◎緊急時対応職員研修

8月4日(月)流通経済大学から講師の先生をお招きし、救命処置実技研修を行いました。

救命処置として、胸骨圧迫による心肺蘇生やAED使用研修を行いました。資料を見ながらマニュアル通りに救命処置を行った後、体が濡れていたら、うつ伏せで倒れていたら、ペースメーカーを使用していたら・・・等を想定し、どのように対応すべきかを話し合い、実践しました。

その後、5つのグループに分かれ、普通教室・特別教室・体育館・校舎外等様々な場所で生徒が倒れたという想定で、シュミレーション実践訓練を行いました。職員は、記録係・保護者連絡係・救急車要請係・AED係等役割分担をし、どのグループも素早く対応にあたることができました。

私たち教員は、本日の研修で得たスキルをもとに、どんな場面においても落ち着いて生徒の救急救命にあたっていきたいと思います。



◎特別支援教育職員研修

8月21日(木)、特別支援学校から3名の先生方をお招きし、校内特別支援研修を行いました。

特別な配慮を必要とする生徒の共通理解を図った後、学年ブロックに分かれて事例検討会を行いました。7学年ブロックでは、交流学級における配慮について、家庭とのつながりについて、現状の対応の仕方の再確認等を行いました。8学年ブロックでは、生徒が安心して登校するために学校ができることは何か、そして、保護者との連携について等を話し合いました。9学年ブロックでは、生徒の進学について、特別支援学校高等部での就労支援等について話し合いました。

特別支援学校の先生からは、

- 生徒本人と保護者の教育的ニーズをしっかりと把握すること
 - 保護者とともに個別の支援計画を立てていくこと
 - 生徒の願いを達成するための具体的な手立てを考え、保護者と共有していくこと
- 等のアドバイスをいただきました。

今回の研修で学んだことを活かし、生徒一人ひとりの困りごと・苦手意識を払拭できるよう、全職員で取り組んでいきたいと思ひます。

